

2020 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1)あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
 - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2)教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
 - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
 - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3)総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
 - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】18 歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1)学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
 - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
 - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2)生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
 - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
 - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3)部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
 - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
 - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4)あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
 - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
 - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5)国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
 - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
 - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
 - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
 - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
 - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
 - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
 - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
 - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
 - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
 - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
 - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
 - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [2020年12月実施]	学校協議会からの意見
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。 ・評価方法： 各項目について、5段階評価で行う。 <p style="margin-left: 20px;">5: その通りである 4: どちらかといえばその通りである</p> <p style="margin-left: 20px;">3: どちらともいえない 2: どちらかといえば違う</p> <p style="margin-left: 20px;">1: まったく違う</p> </div> <p><保護者アンケートの分析></p> <p>評価の分析結果は、ICTを活用した情報提供・生活指導・学校行事・施設備品・クラブ活動・学習評価・学校全般の8項目について4.0を超える高い評価を得ています。学校の取り組みや子どもたちの学校生活を保護者の皆さまに知っていただくために、ミマホルメやホームページに加えてオンラインでの配信も行っています。これからもより多くの情報提供ができるように心がけてまいります。また、「入学させてよかった」や「子どもを成長させてくれる」という項目でも4.0を超える高評価を得ています。これからも慢心することなく、さらなる高い評価を得られるように努めます。</p> <p>一方、資格取得や検定試験・授業や教科指導・いじめ対策・キャリア教育・個人的な悩み相談・教員への信頼についての評価は、必ずしも高くありません。コロナ禍の影響を受けた項目もありました。今後の取り組みとしては、教職員がチームとなり、一人ひとりの生徒に寄り添いながら、学習意欲を高める授業作り、安心して学校生活を過ごすためのクラス経営に尽力してまいります。次年度は、全項目の評価を3.8以上とし、評価の平均値4.0以上をめざします。</p> <p>■高い評価を列記 *4.0以上、()は前年度評価</p>	<p><学校評価委員会を開催></p> <p>2021年3月27日実施</p> <p>今年度はコロナ禍の中で学校生活が例年通りではなく、子どもたちが物足りない思いを抱いていたのではと心配したが、「行事に積極的に参加し、充実した行事となっているか」という項目で高評価となっている。文化祭と体育会を併せた「暇学祭」や行き先を変更した「修学旅行」など、コロナ対策をしつつ楽しく有意義な行事となるよう、生徒たちと先生方が協力したことがわかる。いつもは普通に行っていることが当たり前なことではないとわかり、できるということに喜びや感謝の気持ちを持ってたことは、子どもたちにとって大きな学びであったと考える。また、「クラブ活動」への満足度が高かった。</p>

※評価の平均値 3.92(3.87)

- ・緊急連絡や行事予定などの情報は「ミマモルメ（メール）」で受信し、確認している。4.6(4.4)
- ・子どもは時間や服装など、校則を守って生活している。4.3(4.3)
- ・文化祭・体育会などの行事に、子どもは積極的に参加している。4.3(4.2)
- ・行事の案内や活動内容などの連絡・情報は、配布文書で伝えられている。4.2(4.2)
- ・学校の施設・設備は良く整っており、校内の美化・清掃は行き届いている。4.2(4.1)
- ・子どもは学習・友人関係・活動など楽しく生活していて、学園に入学させてよかった。4.1(4.0)
- ・様々なクラブ活動・特設科が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしていると思う。4.1(4.0)
- ・学校の成績評価は、適切であると思う。4.0(3.9)
- ・この学校は学習・活動・体験を通して自分の子どもを成長させてくれていると思う。4.0(4.0)
- ・遅刻指導など生活面のルールや挨拶・マナーに関して力を入れて取り組んでいると思う。4.0(3.9)

<生徒用アンケートの分析>

生徒の評価は、昨年度と比較すると少し高くなった項目が多くなっています。評価 3.6 以上の数を昨年度と比較すると 10 から 20 項目に増えています。生徒たちは、クラブ活動や行事が活発で明るく活気ある学校・安全や防災に配慮している学校・生活指導によく取り組んでいる学校と捉えてくれています。しかし、保護者アンケートと比較すると、4.0 の評価を得たのが 1 項目のみと少なくなっています。また、様々な課題を抱える生徒一人ひとりへの丁寧な対応・教育方針を踏まえた指導・国際教育への取り組み・落ち着いた雰囲気の中でのわかりやすい授業・主権者教育などの評価は、生徒によって評価が異なります。このことをしっかりと受け止め、一つ一つの項目について振り返りを実施することで、改善のための方策を講じてまいります。

■高い評価を列記 *3.7 以上、()は前年度評価

※評価の平均値 3.63(3.49)

- ・様々なクラブ活動・特設科が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしている。4.0(3.9)
- ・地震・津波・火災等、防災・減災に向けた学習や防災訓練を実施している。3.9(3.8)
- ・遅刻指導など生活面のルールや挨拶・マナーの指導によく取り組んでいる。3.8(3.7)
- ・学校での友人関係や生徒同士の協力やつながりは良い。3.7(3.6)
- ・文化祭・体育会など行事に積極的に参加し、充実した行事となっている。3.7(3.6)
- ・学校の施設・設備は整っていて、校内の美化・清掃は行き届いている。3.7(3.6)
- ・生徒一人ひとりの個性や将来の目標に応じた適切な進路指導が行われている。3.7(3.6)
- ・将来の進路について考えるキャリア教育を 1 年より行い、職業意識が育っている。3.7(3.6)
- ・行事予定や活動内容などの連絡・情報事項は分かりやすく伝えられている。3.7(3.6)
- ・生徒のニーズに対応した放課後・長期休業中の講習や補習が実施されている。3.7(3.6)
- ・学力向上のために、教科の学習内容を熱心に指導してくれている。3.7(3.5)

た。大会や発表会が中止となり、日頃の練習の成果を発揮できない辛さはあっただろうが、それでも前向きに取り組んでくれたことがわかり、たいへん嬉しく思う。

「将来の進路について考えるキャリア学習」については、上級学校体験などの行事が実施され、子どもたちが将来を考えるきっかけとなっているのがよい。今後はさらにキャリア教育を充実させ、多くの選択肢の中からしっかりと絞り込んでいけるよう導いていただければと思う。また、3 年生の進路指導を細やかにしていただいたことに感謝している。

緊急連絡や重要文書配布の連絡の際のミマモルメ（一斉メール配信システム）は、たいへん助かっている。今後も、細やかに情報提供をお願いしたい。

「生徒が教員に悩みを相談できているか」の項目の評価が高くないのが残念である。先生方はかなり近い距離でかかわってくださっているが、大人と子どもの捉え方に温度差があるのかもしれない。教科指導や生活指導等のあり方を納得できていない子どももいる。さまざまな子どもたちの思いを拾い上げて、さらに相談しやすい環境作りをお願いしたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1. 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践	(1) 教育理念・教育方針に基づく教育計画の再編成	4月に各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。	目標や計画の重要性から自己評価 4.0 を目指します。	4月に指導目標・教育活動計画を策定。情報共有に努めることで、3.8(3.6)と前年度より 0.2 上回り、目標までもう一步でした。
	(2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整	<p>①新学習指導要領の 2022 年からの実施に向けて、学園の特徴を前面に打ち出し、具現化を進めます。</p> <p>②教員の「授業力」向上のため、研修・会議・委員会・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。</p> <p>③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図ります。</p> <p>④一貫コースの自分プロジェクトの内容を「SDGs」をメインテーマとしたPBL(問題解決学習)の取り組みとし、他のコースでの取り組みへと広げていきます。</p>	いずれも自己評価 3.6 以上を目指します。	<p>①新学習指導要領の実施に向けて準備が進み 3.5。</p> <p>②研修や公開授業を活用することで、少しずつ教員の「授業力」向上への意識が高まり、3.5(3.3)と前年度より 0.2 上回りました。</p> <p>③各教科及び学年、各部署が連携することで、3.5(3.3)と前年度より 0.2 上回りました。</p> <p>②・③の評価は、目標までもう一步でした。</p>

<p>2. 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成</p>	<p>(1) 主体的・対話的な深い学び(AL授業)の実践</p>	<p>① 基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。</p> <p>③ 課題解決能力を養うための主体的・協働的な授業を実践します。</p>	<p>いずれも自己評価 3.8 以上を目指します。</p>	<p>授業改善への取り組みとして、授業公開を定例化したことで、①が 3.9 と前年度と同じでした。</p> <p>②は 3.7(3.5)と前年度より 0.2 上回りました。</p> <p>③は発展キャリアでのPBLの授業がかなり充実したことで、3.4(3.2)と前年度より 0.2 上回りました。</p>
	<p>(2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力</p>	<p>① 基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行います。</p> <p>② クラス活動や行事活動を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。</p>	<p>どちらも自己評価 3.9 以上を目指します。</p>	<p>コースによって指導が難しく、大きく偏りがあります。</p> <p>①は 3.9(3.7)、②は 3.7(3.6)と目標までもう一歩でした。</p>
	<p>(3) 部活動を通して心身の鍛錬</p>	<p>① 短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践します。</p> <p>② 協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行います。</p>	<p>どちらも自己評価 4.0 以上を目指します。</p>	<p>①・②と 3.9(3.9)で、目標までもう一歩でした。今年度は、どのクラブも活動を制限されていたが、公式試合や大会で優秀な成果を残していました。</p>
	<p>(4) 市民性を育む教育</p>	<p>① 18歳の選挙権を見すえ市民性・主権者意識を育む教育を実践します。</p> <p>② よりよい地域を目指したボランティア活動等の集団的、体験的な活</p>	<p>①は自己評価 3.5以上、②は 3.8 以上を目指します。</p>	<p>①は 3.1(2.9)と、毎年低評価で、1年生から意識を育む教育が必要と感じ</p>

		動並びに地域活動への参加を推奨し、実践的学習を推進します。		ています。 ②は、実践的学習の推進が難しく、2.9 と目標よりかなり開きがありました。
	(5)国際的資質を育む教育	海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てます。	自己評価 4.3 以上を目指します。	国際交流に関しては毎年高評価ですが、今年度は海外研修・留学等の実施が難しく、3.4(4.1)と目標より大きく開きがありました。
中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
3. 人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識	(1)自己・他者が共により良く生きようとする態度	①学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施します。 ②学級生活や活動を通して、多様な価値観を認め合い、仲間と共に調和して生活しようとする態度を養います。 ③年3回のいじめアンケートの実施等、普段から生徒の日々の様子をしっかりと観察し、個人に応じたきめ細やかな指導を行います。	いずれも自己評価 3.8 以上を目指します。	①・②は実施の難しい取り組みもあったが、新しい生活様式を通じての人権教育が図られ、3.8(3.7)と何とか目標の評価になりました。 ③は学校生活アンケートを実施し、生徒たちが仲間と共に調和して学校生活を送れる指導することで、3.8 の評価になりました。
	(2)一人ひとりのニーズに応じた指導	①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教	いずれも自己評価 4.0 以上を目指します。	課題を抱える生徒へは、教職員が連携し、個々のニーズを把握することで、親

		育を実施します。		切・丁寧に対応 することできて います。 ①は 4.1(4.0)と 目標の評価に なりました。 ②は 3.8(3.9)と 前年度より 0.1 下回りました。
4. 進路目標 の実現に向 けて、未来を 切り拓くキャ リア教育・進 路指導	(1)未来の目 標を実現す る能力	①自分の興味・関心を知り進路目 標を考える学習を行います。 ②職業に対する関心・意欲を高め る体験的学習を実施し、キャリア教 育を推進します。	①は自己評価 4.0 を 目指します。 ②は自己評価 3.8 を 目指します。	進路学習は、制 限が多い新しい 生活様式を取り 入れながら実施 しています。 ①は 3.9(3.9)と 前年度と同じ評 価になりました。 ②は体験的学 習の一部が実 施できなかった が、3.8(3.7)と何 とか目標の評価 になりました。
	(2)生徒の目 標を実現さ せる進路相 談・支援	①進学や就職にかかわる進路情 報を提供し、丁寧で個性に応じた 相談や助言を行います。 ②生徒のニーズに対応した放課 後・休業中の講習を実施します。	いずれも自己評価 4.0 を目指します。	①進路指導は 係から情報が提 供され、担任を 中心として個別 の対応と助言を することで、 4.0(4.0) と目標 の評価になりま した。 ②講習の実施 に制限があった が、3.6(3.4)と前 年度より 0.2 上 回りました。
5. 安心・安 全な社会を 築くための	防災・減災 に向けた防 災教育・訓	①マニュアルに沿った避難訓練、 大阪 880 万人訓練等地震・津波・ 火災等、防災・減災に向けた訓練	①は自己評価 4.2 以 上を目指します。 ②は自己評価 3.8 を	①防災訓練で は新しい生活様 式を取り入れて

態度と行動 力の養成	練を実施	を実施します。 ②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。	目指します。	の避難訓練実施が難しく、3.8(4.0)と前年度より 0.2 下回りました。 ②①と同じく、3.5(3.6)と前年度より 0.1 下回りました。
---------------	------	--	--------	---